

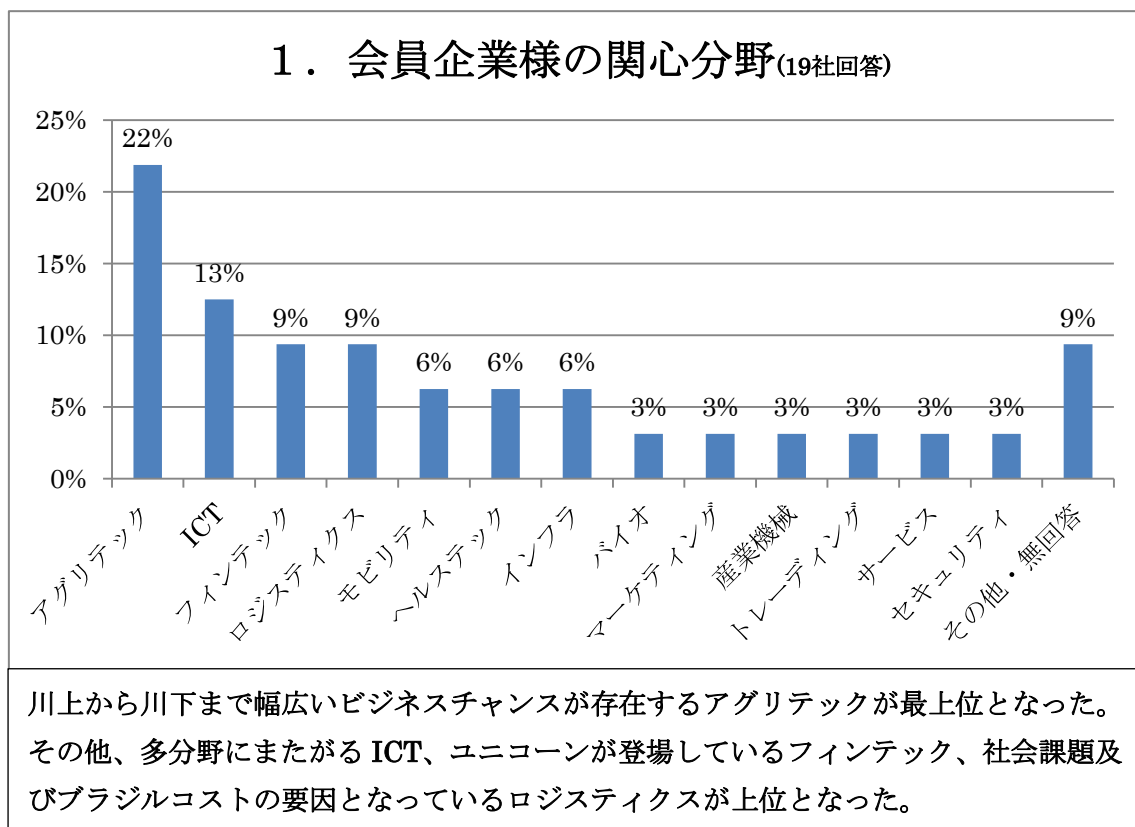
会員各位

第一回イノベーション研究会によるアンケート結果について

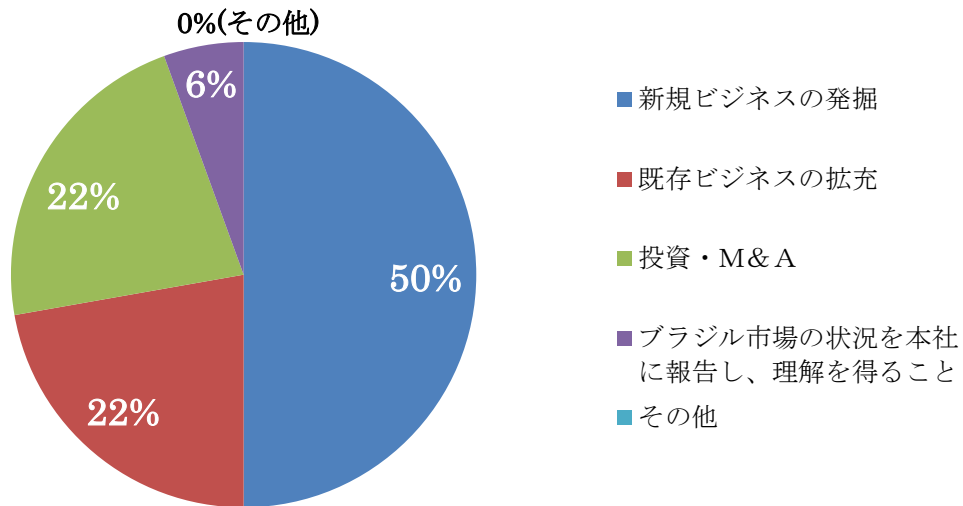
平素より大変お世話になっております。

この度、第一回研究会で実施したアンケート結果を取りまとめましたので、以下の通りお知らせいたします。

1. 調査目的：ブラジルでエコシステムやスタートアップを通じたビジネスを展開するにあたり、日本企業が抱えている課題や今後の研究会に期待される活動内容を把握すること。
2. 調査対象：世界から注目が集まるスタートアップや、企業とスタートアップのオープンイノベーションに関心を有する会員企業様
3. 調査時期：2019年5月24日
4. 回収状況：第1回への参加企業22社より回答
5. 注) 各項目複数回答あり

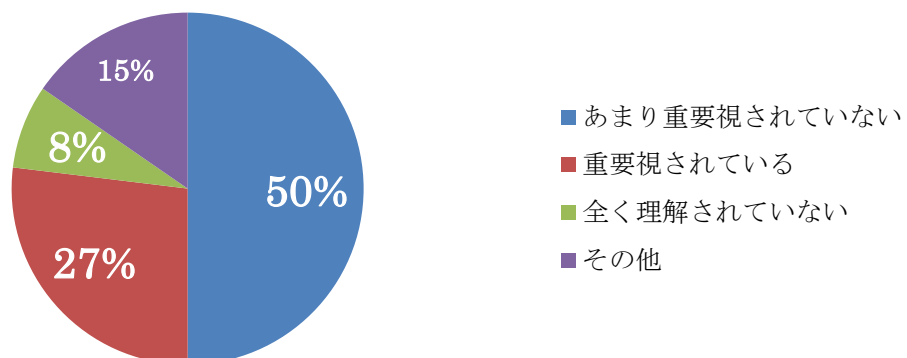


## 2. 貴社におけるブラジルの 最も必要なトピックをお選びください (21社回答)



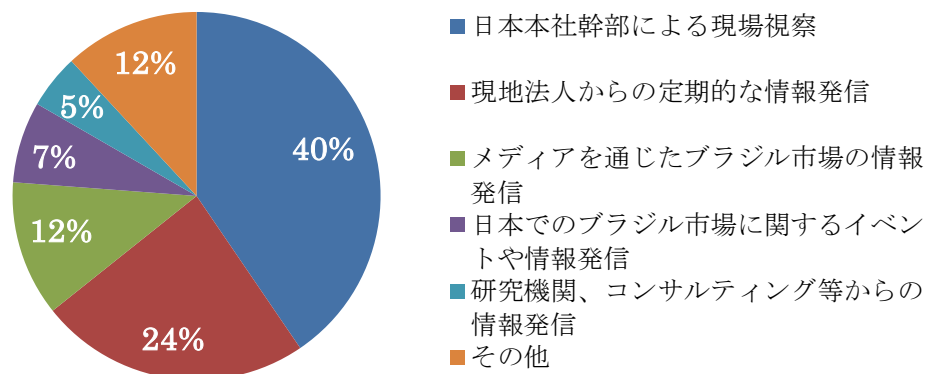
ブラジルコストを始めとしたビジネス環境に影響を受けている企業様がイノベーションを通じて改善を試みたいケースもあるが、新規ビジネスの発掘を優先する企業が過半数を占めた。

## 3. 日本本社によるブラジル市場 の捉え方(21社回答)



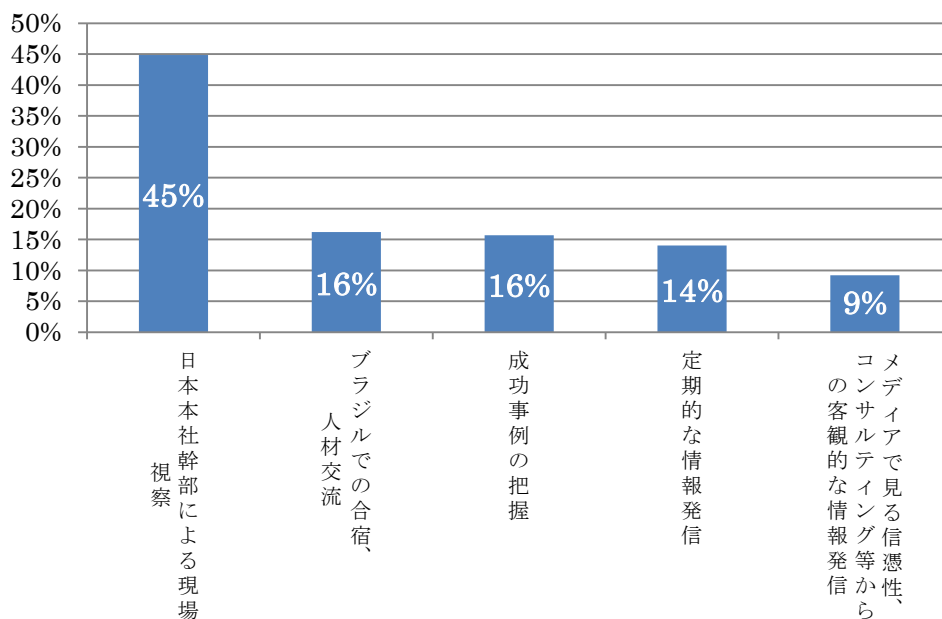
「あまり重要視されていない」という回答が目立ったものの、「重要視されている」と答えた企業は1/4以上存在した。その他の回答としては、重要性は理解されているがリスクの観点から具体的なアクションを起こしにくいという回答や技術力の高さで他国と比較される場合に不利になる、若しくはイノベーションが連想されにくいとの回答もあった。

#### 4. 日本本社によるブラジル市場の理解を促進するために必要だと思うこと (22社回答)



「日本本社幹部視察による現場視察」が約4割を占めた。現地法人からの定期的な情報発信は行っているものの、イメージ先行で正確に理解されていないケースがある。

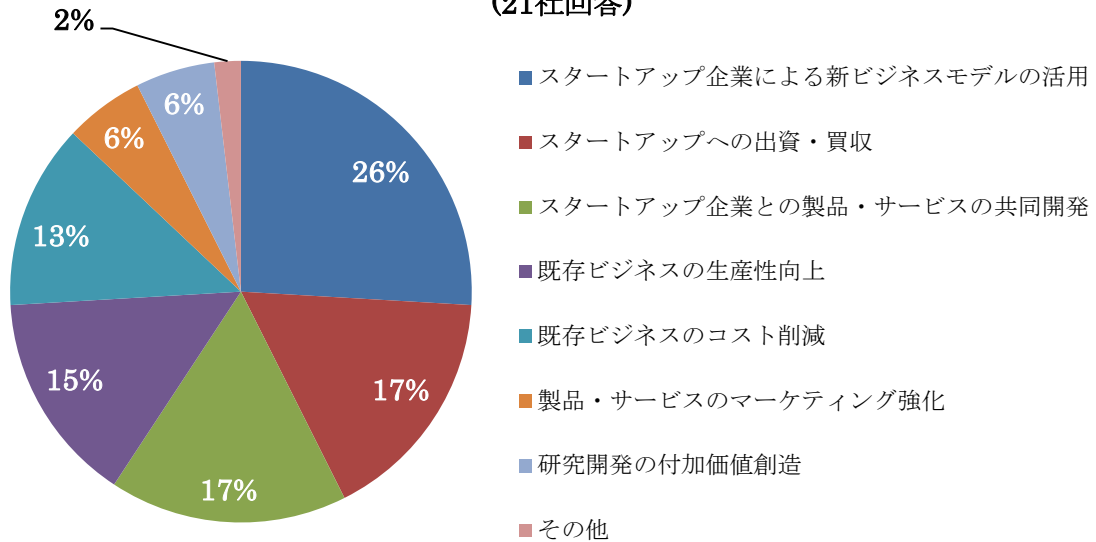
#### 5. グループディスカッションの提案に対してA評価を多く受けた順位



7グループ中、4グループから「日本本社幹部の視察」が提案され、最も評価を受けた。ブラジルでの「成功事例の把握」については2グループからの提案にとどまったが他のグループからの評価も受けたことで上位となった。

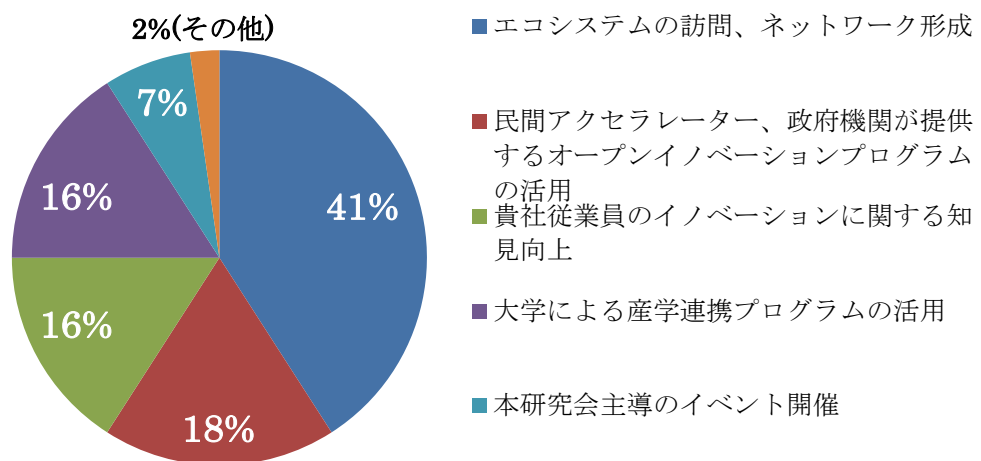
## 6. 貴社がブラジルのイノベーション領域で 実現したい項目をお選び下さい

(21社回答)



スタートアップを手段として「新ビジネスモデルの活用」や「製品・サービスの共同開発」を求める回答が最も多く、既存ビジネスの改善という視点を上回った。

## 7. 貴社が情報提供以外に本研究会で 期待する活動をお選びください。(20社回答)



「エコシステムの訪問、ネットワーク形成」が約4割を占めた。ネットワーク形成の方法については模索している企業もあり、支障のない範囲で手法を意見交換したいという声があった。

ジェトロ・サンパウロ事務所  
電話 (+55) 11-3141-0788  
担当：古木、タチアナ、二宮